

米軍訓練移転費の日本負担 (単位・100万円)		～09年度	～10年度
①「思いやり」予算のNLP移転費(1996年度～)	実績	4,303	—
	予算	5,710	6,250
②SACO経費の実弾砲撃演習移転費(97年度～)	実績	10,014	—
	予算	12,511	13,421
③SACO経費のパラシュート降下訓練移転費(2000年度～)	実績	32	—
	予算	86	92
④米軍再編経費の米軍機訓練移転費(06年度～)	実績	1,000	—
	予算	2,116	2,905
実績額合計		15,349	—
予算額合計		20,423	22,668

防衛省が笠井亮議員に提出した資料から作成

底なし 米軍訓練移転費

在日米軍駐留経費負担に関する特別協定に基づき日本政府が負担してきた米軍訓練の移転経費が、予算総額で約227億円(2010年度まで)、実際に支払ってきた実績額で約153億円(09年度まで)に達していることが分かりました(表)。防衛省が日本共産党の笠井亮衆院議員に提出した資料によるものです。

日本政府が経費負担を による県道104号線越してきた米軍訓練の移転 実弾砲撃演習の本土へは、①米空母艦載機によるの移転③米軍特殊部隊なる夜間離着陸訓練(NL どのパラシュート降下訓練(P)の硫黄島への移転② 練の伊江島(沖縄県)へ沖縄の米海兵隊砲兵部隊の移転④米空軍嘉手納基地

地(同)の米軍機による訓練の本土への移転など一四つに分けられます。

▼①の経費負担は米軍「思いやり」予算の一部として96年度から始まり、予算総額で約63億円、実績額は約43億円(予算総額は10年度まで、実績額は09年度まで、実績額は09年度まで、実績額は約10億円)となつていきます。

で。以下同じ)

▼②と③は沖縄に関する日米特別行動委員会(SACO)経費の一部としてそれぞれ97年度と2000年度から始まり、予算総額は計約135億円、実績額は計100億円

▼④は米軍再編経費の一部として06年度から始まり、予算総額は約29億円、実績額は約10億円となつていきます。

日本側負担 227億円に

いずれの訓練移転も地元「基地負担軽減」が口実でした。しかし、嘉手納基地では外来機による訓練が激しくなるなど逆に負担増になりました。また、実弾砲撃訓練のように、移転先でも訓練が質・量とも拡大・強化されました。「負担軽減」とは名ばかりです。今月1日に発効した在日米軍駐留経費負担に関する新たな特別協定は、「思いやり」予算の総額

米軍訓練の移転先を日本国内だけでなく、「米国の施政の下における領域」にまで拡大。具体的な移転先も特定せず、日本政府が無限定に移転経費を負担することになっていきます。

政府は、新協定の締結にあたり、「思いやり」予算を現在の水準で維持するとしています。目安とされる2010年度の領域」での実施が日米間で合意(今年1月)され、今後、回数など具体的な内容を調整するとしており、米側の要求のままに日本側の負担が膨れ上がる危険があります。

は1881億円で、うちNLP移転費は5億円です。しかし、「思いやり」予算ではなく、米軍再編経費などとして計上されているNLP以外の訓練移転費については制約がありません。とりわけ、米軍機の訓練移転では、米領グアムなど「米国施政下の領域」での実施が日米間で合意(今年1月)され、今後、回数など具体的な内容を調整するとしており、米側の要求のままに日本側の負担が膨れ上がる危険があります。

◆米軍の訓練移転に係る負担（予算額と実績額の推移）

単位：百万

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	合 計		
																～21年度	～22年度	
◆在日米軍駐留経費負担 (NLPの硫黄島への移転)	実績	290	150	362	108	292	215	308	342	343	351	403	499	184	456		4,303	
	予算	350	350	370	384	353	389	374	384	356	381	429	500	525	565	540	5,710	6,250
	①艦載機の飛行経費	180	178	112	134	141	158	179	196	173	170	206	248	244	261	253	2,580	2,833
②人員・物資の輸送	69	81	134	128	68	79	70	69	62	91	116	148	176	212	195	1,503	1,698	
③給食・宿舎管理サービス費等	101	92	125	123	145	151	125	120	121	119	107	104	105	92	92	1,630	1,722	
◆SACO関係経費 (県道104号越え砲撃訓練の移転)	実績		626	856	855	847	823	876	899	982	1,096	808	384	411	551		10,014	
	予算		627	856	859	857	824	879	915	1,018	1,147	1,046	1,287	1,263	933	910	12,511	13,421
	①人員・物資の輸送		581	815	810	803	757	800	825	932	1,066	966	1,201	1,157	879	845	11,592	12,437
②給食・宿舎管理サービス費等		20	19	22	27	28	41	48	40	40	42	38	45	12	18	422	440	
③電話料金等		26	22	27	27	39	38	42	42	46	42	49	61	42	47	498	545	
◆SACO関係経費 (パラシュート降下訓練移転)	実績					1	1	2	3	6	6	4	6	2	1		32	
	予算					10	10	9	7	7	7	8	11	9	9	6	86	92
	人員・物資の輸送等					10	10	9	7	7	7	8	11	9	9	6	86	92
◆米軍再編関係経費 (米軍再編に係る航空機訓練移転)	実績										26	384	266	324		1,000		
	予算										40	366	924	786	789	2,116	2,905	
	①米軍航空機の飛行経費										35	314	451	346	406	1,146	1,552	
②人員・物資の輸送										3	43	347	380	324	773	1,097		
③給食・宿舎管理サービス費等										1	9	126	60	59	196	255		
実績額合計	290	776	1,218	963	1,140	1,039	1,186	1,244	1,331	1,453	1,241	1,273	863	1,332		15,349		
予算額合計	350	977	1,226	1,243	1,220	1,223	1,262	1,306	1,381	1,534	1,523	2,164	2,721	2,293	2,245	20,423	22,668	

(1)訓練移転＝◆NLPの硫黄島への移転(米空母艦載機安間着陸訓練を厚木基地から硫黄島に移転)◆県道104号芦射撃訓練の移転(沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練を本土へ移転)
◆パラシュート降下訓練(海兵隊のパラシュート降下訓練を沖縄伊江島補助飛行場へ移転)◆米軍再編に係る訓練移転(嘉手納基地所在米軍機の訓練を本土へ移転)

(2)在日米軍駐留経費負担、SACO関係経費、米軍再編関係経費の合計額で上段が実績額、下段及び項目ごとの金額は予算額である。

(3)予算額には事務費は含まれない。計数は四捨五入によるので、予算額の項目ごとの金額と合計額は符号しない。